別紙様式１（第１４条第１項及び第１５条第１項関係）

遺伝子組換え生物等使用実験計画書

　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 実験の区分（注１） | 拡散防止措置（注１） |
| □1.微生物使用実験□2.大量培養実験 3.動物使用実験□(1)動物作成実験□(2)動物接種実験　4.植物等使用実験□(1)植物作成実験□(2)植物接種実験□(3)きのこ作成実験 | □Ｐ１　　　　　　□ＬＳＣ□Ｐ２　　　　　　□ＬＳ１□Ｐ３　　　　　　□ＬＳ２□Ｐ１Ａ　　　　　□Ｐ１Ｐ□Ｐ２Ａ　　　　　□Ｐ２Ｐ□Ｐ３Ａ　　　　　□Ｐ３Ｐ□特別飼育区画　　□特別網室□その他 |

|  |  |
| --- | --- |
| 課題名 |  |
| 実験実施期間（注２） |  | 年 |  | 月　から |  | 年 |  | 月　まで |
| 実験責任者 | 所属部局の所在地 | （〒　　　　） |
| 所属機関・部局・職 |  |
| 氏名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 学内説明会受講歴 | 　　　年　　月　　日　受講 |
| 実験場所 | 所在地 | （〒　　　　）　 |
| 名称 |  |
| 承認番号 | 　　　　　　　　号（　　年　　月　　日承認） |
| 実験従事者 | 氏名 | 所属部局・職名 | 宿主及びその取扱い経験年数（注３） | 遺伝子組換え生物等使用実験経験年数（注４） |
|  |  |  |  |
|  | （指導教員氏名）（注５） |  |  |  |
| 安全委員会が本実験計画の実施を適当と認める理由 |  |
| 委員長の所属部局・職名・氏名 |  |
| 承認番号 |  |
| 実験課題名 |  |
| 実験の目的 |  |
| 実験の概要 |  |

|  |
| --- |
| 供与体・ベクター・宿主の組み合わせ |
| 核酸供与体（分類学上の位置，実験分類等）(注６) | 供与核酸（核酸の種類，名称等）(注７) | ベクター(名称等）(注８) | 宿主（分類学上の位置，実験分類等）(注９) | 保有動植物等(注１０) | 拡散防止措置の区分(注１１) | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 遺伝子組換え生物等の特性 | 核酸供与体の特性（注１２） |  |
| 供与核酸並びにその産物の特性（注１３） |  |
| ベクター等の特性（注１４） |  |
| 宿主等の特性（注１５） |  |
| 遺伝子組換え生物等の特性（宿主等との相違を含む）（注１６） |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 遺伝子組換え生物等を保有している動物，植物又は細胞等の特性（注１７） |  |
| 拡散防止措置 | 区分および選択の理由（注１８） |  |
| 施設等の概要（注１９） |  |
| 遺伝子組換え生物等を不活化するための措置（注２０） |  |

※原則として，委員会へ提出前に安全主任者の事前確認を受けること。ただし，提出前に安全主　任者の事前確認が難しい場合は，理由書を付して委員会へ提出することも可とする。